

福島経済マンスリー

1月の県内経済は、足元で弱い動きもみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 平成27年1月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、消費増税前の駆け込み需要などにより高水準となった前年と比較して、足元で弱い動きもみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では9ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、10ヵ月連続で前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が4ヵ月連続、請負金額と保証金額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が2ヵ月ぶり、工事費予定額と床面積が2ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は合計で2ヵ月ぶりに前年を下回った。内訳をみると、持家が8ヵ月連続、分譲が5ヵ月ぶり、貸家が4ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が3ヵ月ぶりで上昇したものの、前年比が3ヵ月連続で下降した。業種別の前月比をみると、11業種で上昇し、8業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を上回り、原数値が前年を上回った。また、雇用保険受給者実人員は16ヵ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は12月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		26年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	27年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	6.2	5.0	3.0	4.1	2.6	2.8
	乗用車新車登録台数	△ 18.1	△ 4.9	△ 10.6	△ 12.2	△ 5.6	△ 27.7
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	6.0	△ 26.7	58.7	△ 39.8	135.3	△ 61.7
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 17.6	33.1	154.1	△ 10.2	△ 43.5	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 14.1	△ 12.1	0.2	△ 1.0	1.1	△ 18.5
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注1}	0.0	2.5	△ 3.5	△ 8.6	△ 0.9	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注1}	0.16	0.17	0.20	0.21	0.24	0.24
	雇用保険受給者実人員	△ 21.1	△ 17.2	△ 20.5	△ 20.6	△ 17.3	△ 18.2

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		26年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	27年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	4.8	△ 10.4	4.1	2.0	25.8	△ 18.7
	乗用車新車登録台数	△ 30.4	55.6	△ 18.9	4.9	△ 5.1	△ 3.1
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 35.4	0.3	△ 1.0	△ 56.5	140.0	△ 48.3
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 23.0	40.5	171.5	△ 67.8	31.1	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 33.2	△ 4.5	12.2	13.9	7.9	△ 43.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合） ^{注2}	2.2	1.0	△ 2.9	△ 0.2	3.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む） ^{注2}	△ 0.02	0.02	0.02	0.01	0.06	0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 4.9	△ 1.0	△ 6.9	△ 10.2	2.8	△ 2.5

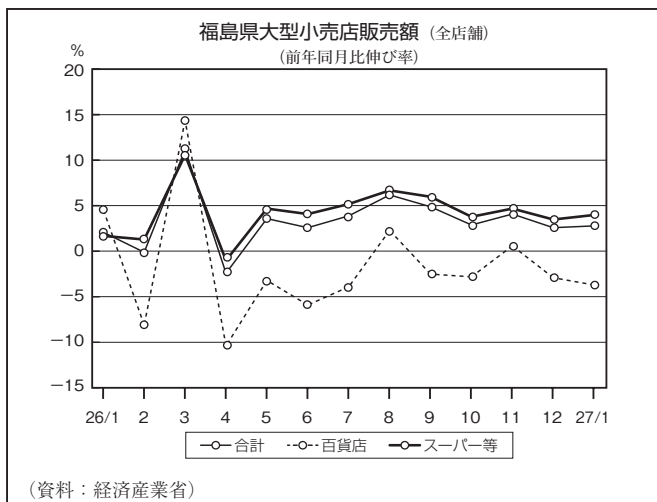
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

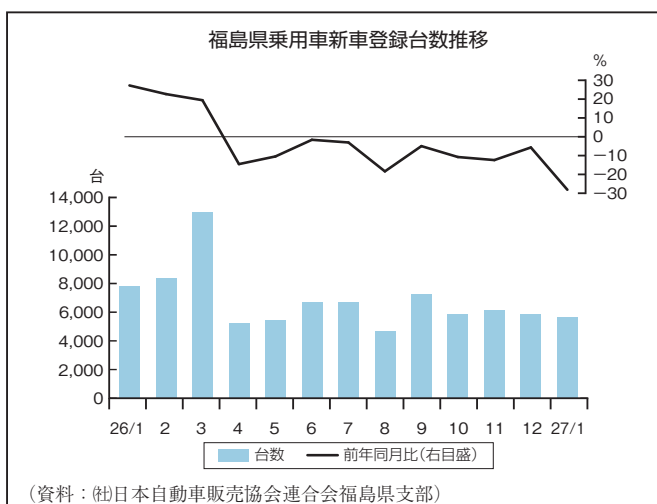
大型小売店：9ヵ月連続で前年比増

1月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で212億54百万円（前年同月比+2.8%）と9ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品が前年を下回り、合計では同△3.7%となった。一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同+4.0%となった。



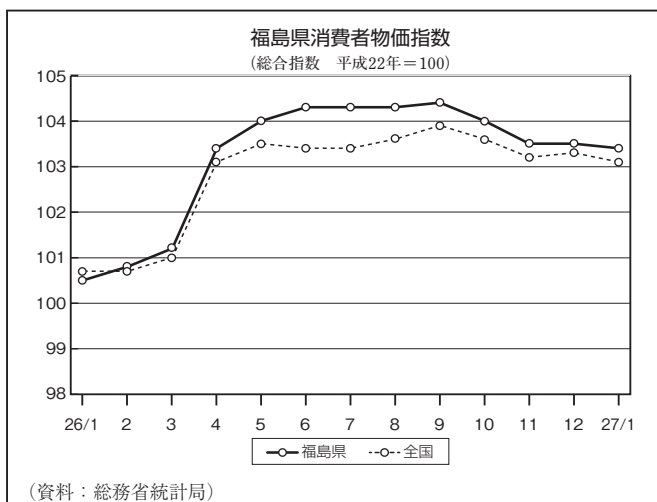
乗用車販売：10ヵ月連続で前年比減

1月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,645台（前年同月比△27.7%）となり、10ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、普通車が1,514台（同△36.9%）と4ヵ月連続、小型車が1,908台（同△15.9%）と6ヵ月連続、軽乗用車が2,223台（同△29.1%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。



消費者物価指数：前年比で上昇、前月比で下降

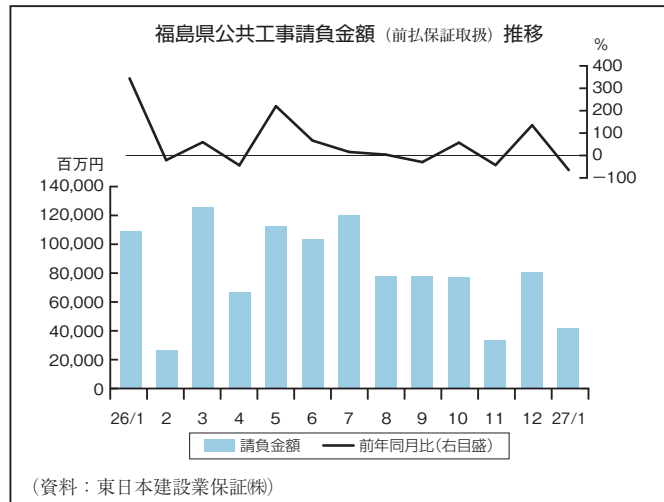
1月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、103.4と前月比△0.1%、前年同月比+2.9%となった。費目別に前月比で見ると、「食料」が105.1（前月比+2.0%）など3費目で上昇したものの、「被服及び履物」の96.1（同△7.1%）など5費目が下降した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月ぶりで前年比減

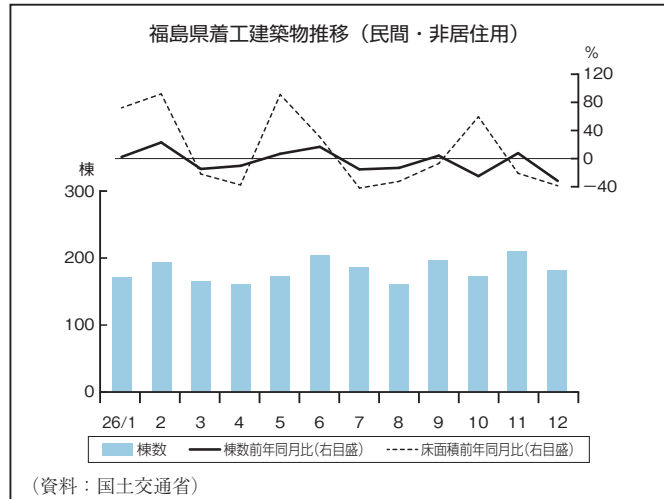
1月の公共工事前払保証取扱は、件数が504件（前年同月比△10.3%）と4ヵ月連続で前年を下回った。また、請負金額は418億81百万円（同△61.7%）、保証金額は206億71百万円（同△55.4%）と、ともに2ヵ月ぶりで前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2ヵ月連続で前年比減

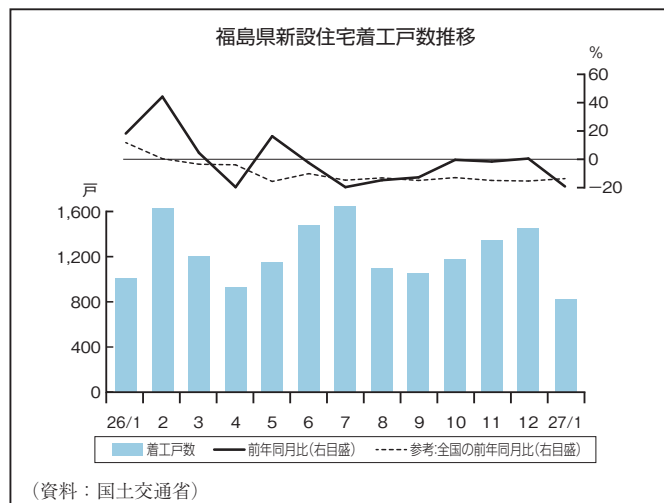
12月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が182棟（前年同月比△31.3%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。また、工事費予定額は157億82百万円（同△43.5%）、床面積は71,216㎡（同△38.1%）と2ヵ月連続でともに前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：2ヵ月ぶりで前年比減

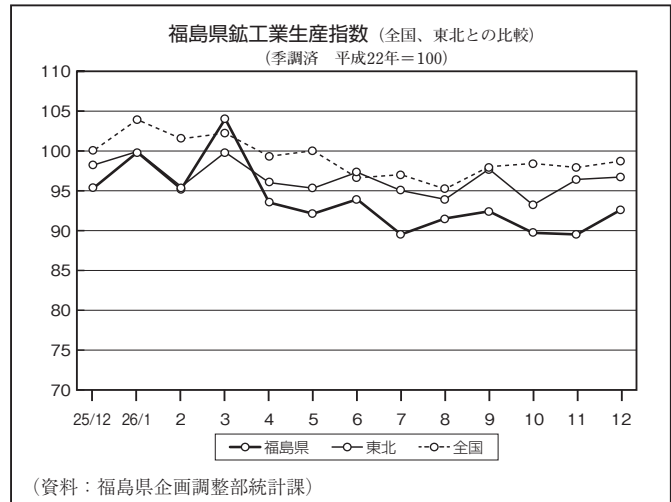
1月の県内新設住宅着工戸数は、826戸（前年同月比△18.5%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が437戸（同△27.8%）と8ヵ月連続、「分譲」が41戸（同△16.3%）と5ヵ月ぶり、「貸家」が346戸（同△3.4%）と4ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比で下降、前月比で上昇

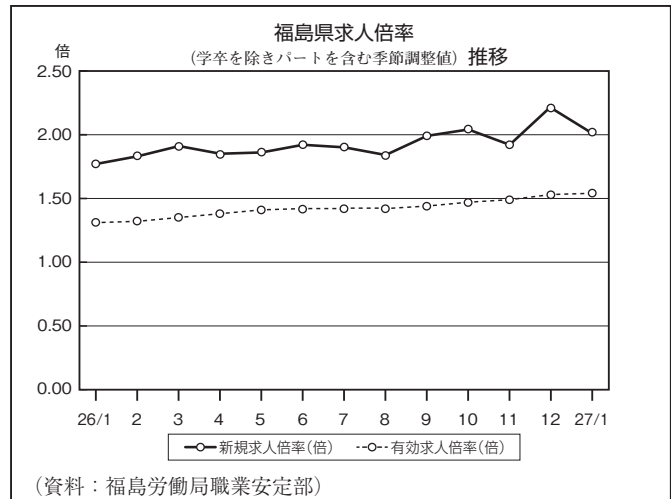
12月の鉱工業生産指数は、92.6（季節調整値）で前月比+3.3%と3ヵ月ぶりで前月を上回ったが、原指数が94.9で前年比△0.9%と3ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「情報通信機械工業」（前月比+25.4%）など11業種で上昇したが、「金属製品工業」（同△6.3%）など8業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は58ヵ月連続前年比増

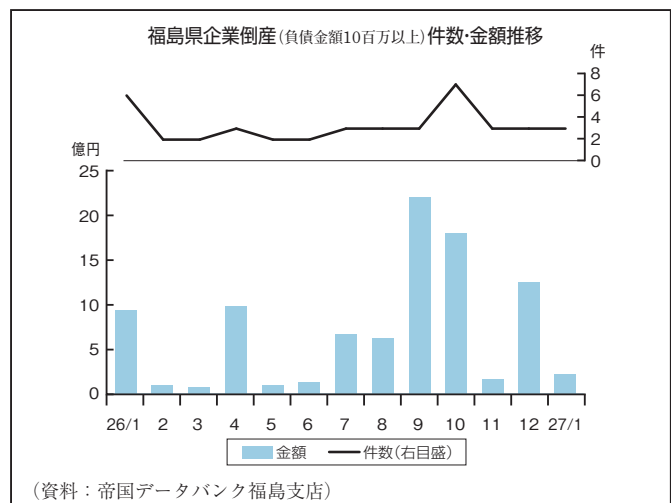
1月の新規求人倍率は、季節調整値が2.02倍（前月比△0.20ポイント）、原数値が1.89倍（前年同月比+0.22ポイント）となった。また、1月の有効求人倍率は、季節調整値が1.54倍（前月比+0.01ポイント）、原数値が1.58倍（前年同月比+0.24ポイント）と58ヵ月連続で前年を上回った。また、1月の雇用保険受給者実人員は5,767人（前年同月比△18.2%）と16ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数、負債額とも前年比で減少

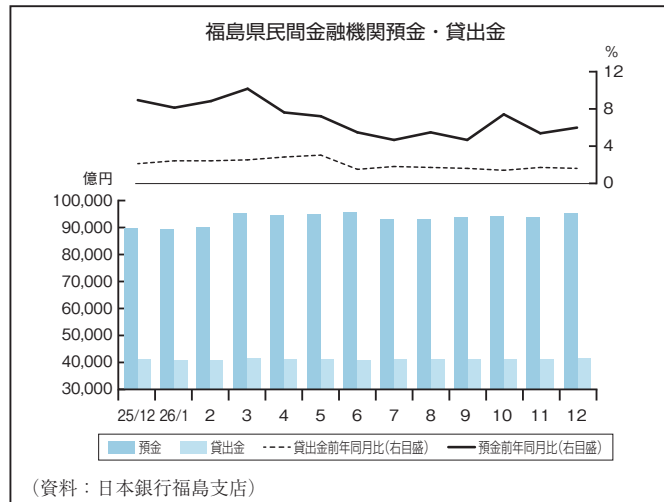
1月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比△50.0%）、負債総額が2億70百万円（同△71.8%）となり、件数、負債総額とも前年を下回った。業種別では、製造業、運輸・通信業、サービス業が各1件となった。



金融動向

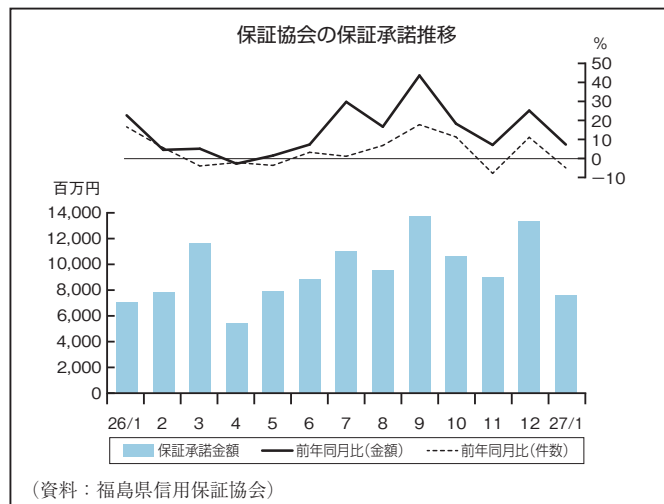
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の12月末の預金残高は、9兆1,955億円（前年同月比+6.0%）と94ヵ月連続、貸出金残高は、4兆973億円（同+1.7%）と19ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は金額が前年比増

1月の保証承諾は、件数が636件（前年同月比△5.1%）、保証金額が75億55百万円（同+7.2%）となった。また、1月末日現在の保証債務残高は、件数45,580件（同△6.0%）、金額4,015億41百万円（同△9.2%）となった。一方、1月中の代位弁済は、件数が6件（同△79.3%）、金額が77百万円（同△78.2%）となった。



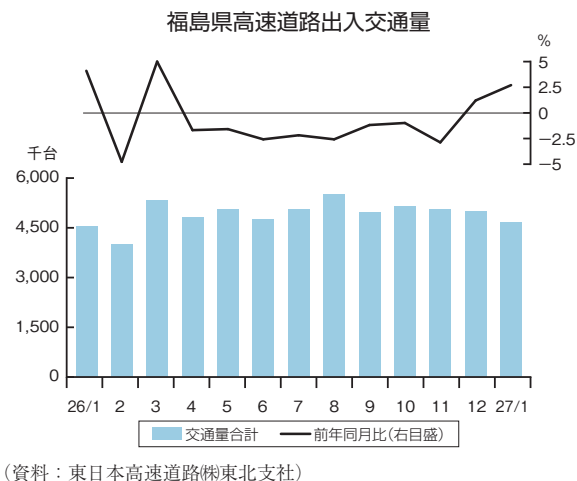
4. 業種別動向

消費動向

家電量販店 1月の家電量販店の売上高は、エアコンや冷蔵庫、パソコンなどが前年を下回ったことなどから、合計では前年を10%ほど下回った。

ホームセンター 1月のホームセンターの売上高は、自転車などが前年を下回ったことなどから、合計では前年を3%程度下回った。

旅行 12月の旅行取扱額は、国外がほぼ前年並みだったものの、国内が団体を中心に前年を上回ったことから、合計では前年実績を20%程度上回った。



た。

高速道路 1月の県内自動車道出入台数は、合計で4,669,845台（前年同月比+2.7%）と、2ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,478,341台（同+33.4%）と11ヵ月連続で前年を上回った。一方、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は351,148台（同△5.6%）と4ヵ月連続、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,300,064台（同△7.3%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は540,292台（同△7.5%）とともに10ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

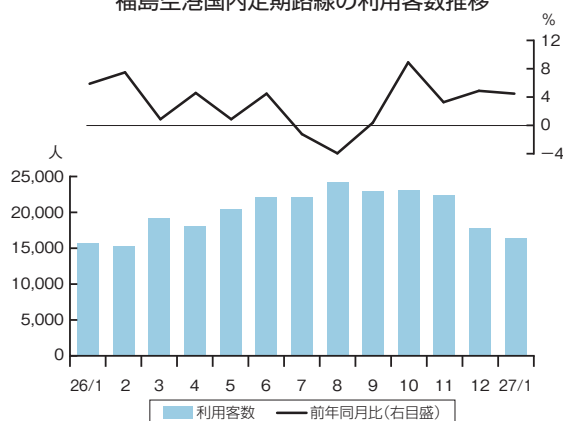
福島空港 1月の福島空港国内定期路線の利用状況は、16,427人（前年同月比+0.8%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は6,504人（同+10.8%）、大阪便は9,923人（同+0.7%）となった。（国際定期路線は全便運休）

生産活動

化学 1月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国からの受注量に伸び悩みが窺われることから、前年をわずかに下回る生産水準となっている。一方、フッ素樹脂は、リチウムイオン電池の材料など、海外からの受注量が増えたことなどから、前年を上回る生産となった。

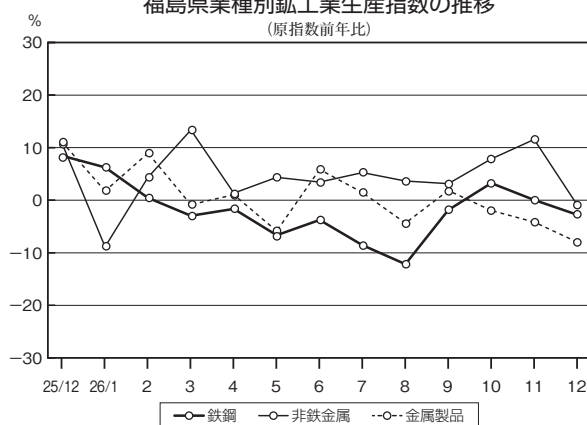
鉄鋼・金属 1月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年並みの水準となった。また、半導体向け電子材も、新興国の製品との競合が続いているものの、円安効果などにより、海外からの受注量が増えていることから、前年を25%ほど上回る生産を確保した。1月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少による影響などから、前年を10%以上下回る生産となった。陸船用バルブは、中国などの低価格品との競合が続いているものの、安定した受注量を確保したことから、前年を20%程度上

福島空港国内定期路線の利用客数推移



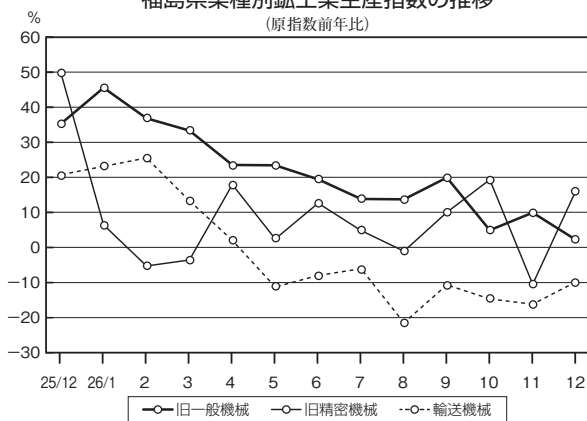
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



(資料：福島県企画調整部統計課)

回る生産となった。

輸送用機械 1月の鋳造品は、トラック向けが国内や北米からの受注量が上向していることから、合計では前年を5%程度上回る生産となった。一方、オイルシールは、国内の自動車販売が振るわないことなどから、合計では計画をわずかに下回

る生産となった。

電気機械 1月の電気機械は、変圧器が前年を下回ったものの、配電盤や誘導炉、モーターの生産がいずれも前年を上回ったことから、合計では前年をわずかに上回る生産となった。

情報通信機械 1月の情報通信機械は、国内向けモバイル基地局の生産が横ばいで推移しているものの、国外向け携帯電話の中継局の生産が好調だったことから、合計では前年を5%ほど上回る生産水準となった。

電子部品・デバイス 1月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を5%ほど上回ったものの、前月を約15%下回った。

精密機械 1月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なことから、合計では前年をわずかに上回る生産水準を維持した。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、円安による海外受注の増加により、前年を10%ほど上回る生産となった。

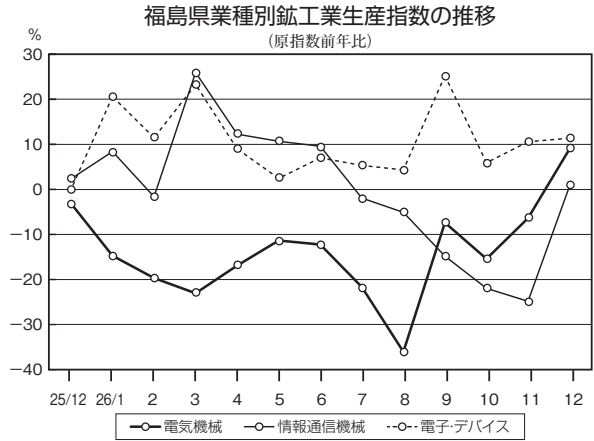
紙・紙加工品 1月の製紙は、消費増税前の駆け込み需要から昨年が高水準だったこともあり、合計では前年を5%以上下回る生産水準となった。

清酒 1月の清酒移出数量は、799kl（前年同月比△16.4%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が398kl（同△26.8%）と10ヵ月連続、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が401kl（同△2.7%）と2ヵ月ぶりでともに前年を下回った。

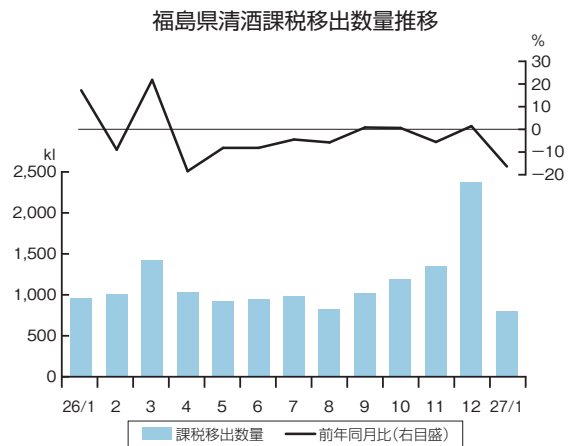
化合繊維物 1月の化合繊維物は、生産量が前年を80%ほど上回り、生産額は前年を60%以上上回った。

ニット 1月のニットは、春物商品の生産を中心に操業しており、数量および金額とも前年を10%ほど上回った。

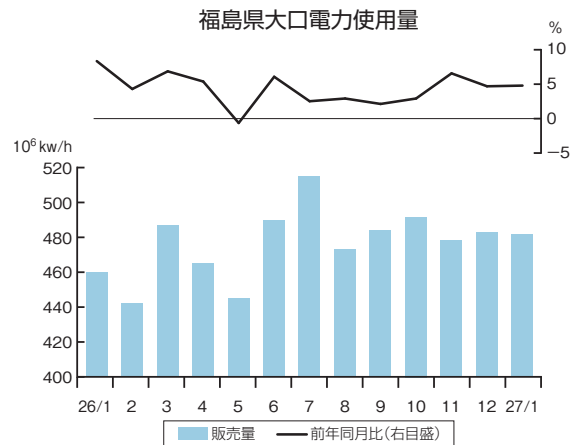
大口電力 1月の大口電力販売量は、482百万kw/h（前年同月比+4.8%）と8ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)

「非鉄金属」で108百万 kw/h（前年同月比+10.3%）、「電気機械」で79百万 kw/h（同+9.4%）、「輸送用機械」で53百万 kw/h（同△5.1%）、「化学」で43百万 kw/h（同△1.1%）、「一般機械」で25百万 kw/h（同+2.9%）、「紙・パルプ」で21百万 kw/h（同+39.1%）となっている。